

発表日：平成22年12月 1日
所属：奈良県産業・雇用振興部産業支援課
科学技術振興係
担当：田原、山本
電話：0742-27-8814
所属：(財)奈良県中小企業支援センター
地域結集型共同研究推進室
担当：城家、浅井
電話：0742-36-8316

報道資料

大和の伝統野菜「大和まな」を使った青汁を発売

～ 田村薬品工業(株)田村社長、(株)カイゲン岩塚社長が荒井知事に報告 ～

本日、地域結集型研究開発プログラムにおいて開発された大和の伝統野菜「大和まな」の新品種を使用した「青汁」が発売されることになり、製造元の田村薬品工業(株)社長と販売元の(株)カイゲン社長が販売開始の報告のため、知事を訪問します。

1. 日 時 平成22年12月1日(水)
午前10時30分～10時45分
2. 場 所 奈良県庁主棟5階 記者会見場 奈良県登大路町30番地
3. 出席者 奈良県知事 荒井 正吾
田村薬品工業(株)代表取締役社長 田村恵昭
(株)カイゲン代表取締役社長 岩塚英文
4. 進行内容 (1) 両社長から知事への報告
(2) 試飲
(3) 記念撮影
5. その他 発売予定日 平成22年12月 2日(水)

この件に関するお問合せ先

【商品の内容や販売に関すること】

株式会社カイゲン食品事業部 西森 TEL. 06-6202-8974

※ 消費者からの商品の問合せ先 TEL. 0120-101-329(9時～18時)

【地域結集型研究開発プログラムに関すること】

県産業・雇用振興部産業支援課 田原 TEL. 0742-22-1101 内線 3566

又は(財)奈良県中小企業支援センター 城家 TEL. 0742-36-8316

○大和の伝統野菜「大和まな」の新品種について

大和の伝統野菜「大和まな」の新品種は、奈良県が平成17年度より実施する（独）科学技術振興機構の地域結集型研究開発プログラムにおいて、奈良先端科学技術大学院大学、奈良女子大学、県農業総合センター及びナント種苗㈱の共同研究により開発され、今秋より青果の販売が始まっています。

「新品種の特徴」

従来の大和まなの品質（味と形状）を保ちながら、

- ①日持ちがよい（下葉が黄化しにくい）
- ②サイズが揃う
- ③夏場にも品質のよい生産物を出荷できる

○地域結集型研究開発プログラムについて

奈良県では、（独）科学技術振興機構の支援のもと、「古都奈良の新世紀植物機能活用技術の開発」を研究課題として、地域の大学、公設試験研究機関、民間企業等が結集して共同研究を行うことにより、新技術・新産業の創出し、地域経済の活性化を目指しています。

本プログラムの中核機関（運営主体）は、（財）奈良県中小企業支援センターが担っています。

○奈良県産大和まな使用「はちみつレモン青汁」について

地域結集型研究開発プログラムの共同研究に参画している田村薬品工業（株）と（株）カイゲンによる共同開発の上、（株）カイゲンが販売を行います。

商品等の詳細は、別添の商品パンフレットを参照